



News Release

2014年11月5日
京都表具協同組合

京都府立京都すばる高校販売学習「京都すばるデパート」 「表具の技」を活かした和雑貨を販売

～「ランチョンマット」「コースター」など生徒が仕入れ、販売～

ベテランから若手まで京表具師84名が所属する京都表具協同組合（所在地：京都市右京区理事長 田中 善茂）は11月15日（土）16日（日）京都府立京都すばる高校（京都市伏見区向島）において開催される「第28回 販売学習『京都すばるデパート』」に、京表具（掛軸・額装・屏風）の伝統的技法を活かし表装裂（ひょうそうぎれ※）を用いて作成したランチョンマット、コースター、ストラップ等を出品いたします。日常生活で使われている雑貨に「京表具」の技法を取り入れることにより業界のPRに努めたいと思います。

「販売学習『京都すばるデパート』」は、生徒が商品仕入から販売まで担当するビジネス社会と連携した実際の・体験的学習です。（今回は36企業が参加予定）生徒は各々、自分が担当する商品について、まずその知識を得ることから始まり、市場価格やニーズ、販促の方法を学習した上で、売価設定や仕入れ数を決定し企業から商品を仕入れ、開催日に来場されたお客様に販売します。

「表具」については初耳だという生徒がほとんどであり、9月29日に開催された協力企業説明会においては、商品サンプルを前にしてまず「表具」というものの説明から始め、その技術、商品が完成するまでの工程を詳細に説明し、伝統的技法を用いた手作りの品について理解を求めました。

親世代・祖父母世代にもPR

「京都すばるデパート」での販売は、10代といった若い世代の生徒はもちろん、来場される父兄はじめさまざまな世代に「京表具」をPRできる絶好の機会ととらえています。核家族化がすすみ、洋風化されている現代生活空間においては掛軸や屏風・襖と触れ合うことが少なくなっており、「寺院で見えるもの」「和風建築のお店にあるもの」と認識されていると思われます。とはいえ「京都すばるデパート」で京表具そのものすなわち掛軸・額・屏風を販売することは价格的・需要的などの面から経験上大変難しいと考えられます。

そこでストラップやランチョンマット、コースターといった日常で使うものに表具の伝統的技法を用い、それを担当する生徒から親世代・祖父母世代の方々を紹介してもらうことで、「京表具」の幅広い世代へのPR効果を期待しています。

※表装裂・・・掛軸や額装に用いる裂（布）のことをいう。



平成26年度第28回 販売学習「京都すばるデパート」

日時：平成26年11月15日（土）・11月16日（日）

開店 午前9時30分 閉店 午後3時

場所：京都府立京都すばる高校（京都市伏見区向島）

本件に関するメディアからのお問い合わせ先

京都表具協同組合 販路拡大部長 木南 拓也 広報部長 藤田 幸生

〒615-0042 住所：京都市右京区西院東中水町17 京都府中小企業会館5階

TEL:075(314)5700 FAX:075(313)1120

ホームページ:www.kyo-hyougu.jp/

e-mail: kyoutohyougu2007@yahoo.co.jp